2022-11-16　NO.24

University e-Learning Association

大学ｅラーニング協議会ニューズレター

発　行：大学ｅラーニング協議会　事務局

1．協議会活動方針

会長　小松川 浩
公立千歳科学技術大学

コロナによる制限もだいぶ緩和の方向に向かっており、各大学で対面を中心とした授業展開が戻ってきました。一方で、オンラインの有効性の知見も広く知られ、国の答申でも ICT の活用による新たな教育プログラムの推進が求められています。数理データサイエンス教育のような、認定型の学修プログラムでは、学部横断・大学連携などにより、社会の要請に応える「学修者本位」の教育プログラムに対応すべく、オンラインの有効活動が強く求められています。中教審の質保証システム部会の議論でも、45 時間全体での単位修得の考え方が改めて重要であるとして、従来の 15 回の決められた対面授業の実施にこだわらない、授業設計の例示もなされています。

本協議会でも、2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）の背景を理解して、国の施策を意識しながら、各大学における教育の実質化と質保証について改めて考える必要があると考えています。そこで、今年の総会では、こうした背景に基づき、文部科学省の方にご講演も頂きながら、今後協議会に求められることを全体で共有できる場作りができればと思っています。

部会の体制も強化することとして、各部会の取り纏めを 2 名体制になるように、幹事校を中心に人選にあたっています。今後各部会でご案内があるかと思いますので、部会ミーティングや総会でのイベントに是非ご参加ください。さらに、幹事校を中心に、会員大学の横の繋がりを確認しようということで、窓口の先生方にお声をかけ、協議会で取り上げた方が良い内容に関する声を拾おうとしております。お声のかかった大学は、是非色々な声をお聞かせください。今年の総会は、創価大学で行われ、対面を軸に検討を進めています。こうした場で、皆様の声を直接お聞かせ頂いて、有意義な情報共有が図れればと思っています。是非よろしくお願いいたします。

2. 加盟組織一覧

会長　小松川　浩（公立千歳科学技術大学）
代表幹事校　創価大学
事務局長　望月　雅光（創価大学）
監査校　帝塚山大学、大手前大学
渉外　森　祥寛（金沢大学）

幹事校　岩手県立大学、愛媛大学、大手前大学、金沢大学、熊本大学、
公立千歳科学技術大学、佐賀大学、信州大学、創価大学、帝塚山大学、
長岡技術科学大学、山梨大学

加盟大学　愛知大学、江戸川大学、大阪工業大学、大阪大学、岡山理科大学、尾道市立大学、
金沢学院大学、金沢工業大学、畿央大学、九州工業大学、京都情報大学院大学、
近畿大学、桜の聖母短期大学、札幌学院大学、札幌大学、湘南工科大学、
仁愛女子短期大学、清泉女子大学、中信金融管理學院、電気通信大学、
東京家政大学、東洋大学、徳島大学、長崎国際大学、長崎大学教育開発機構、
名古屋学院大学、日本工業大学、八戸工業大学、北星学園大学、兵庫医療大学、
福岡女学院大学、防衛大学校、法政大学、北海道医療大学、三重大学、
武蔵野大学、明海大学、桃山学院大学、酪農学園大学、和歌山大学

賛助会員　一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸、
NPO 法人サイバー・キャンパス・コンソーシアム TIES、株式会社カルク、
株式会社デジタル・エデュケーショナル・サポート、株式会社ナレロー、
株式会社ネットラーニング、株式会社メイドインクリニック、
公益財団法人日本漢字能力検定協会、こだまリサーチ株式会社、
ユニコネクト株式会社

50 音順 加盟大学 52 校 賛助会員 10 社（2022 年 10 月 31 日現在）

3. 2021 年度 UeLA フォーラム･総会の報告

UeLA 事務局

1）2021 年度フォーラム

2022 年 3 月 8 日、「高大社トランジションを見据えた課題と ICT 活用教育のあり方」をテーマとしたフォーラムを、現地と Zoom のハイブリッド形式で開催いたしました。

午前の部では、第 2・第 3 部会の合同企画による事例報告として、岡山理科大学、佐賀大学、九州工業大学より、ポストコロナを見据えたオンライン教育の方向性について、経験を踏まえた教育実践事例が報告されました。

午後の部では、基調講演として、桐蔭学園理事長　溝上 慎一氏による「高大社トランジションを見据えた教育と ICT 活用の推進と課題」、京都大学　松下 佳代氏による「トランジションを見通したコンピテンシーの育成ー対話型論証の活動を通じてー」というそれぞれのテーマでお話をいただきました。その後、ミニシンポジウムとして、望月 雅光事務局長の司会進行のもと、溝上 慎一氏、松下 佳代氏と、当協議会の小松川 浩会長による討論が行われました。

また、引き続き、日本リメディアル教育学会（JADE）ICT 活用教育部会との共催で、計 8 件の研究発表が行われました。フォーラムには 149 名の方にご参加いただきました。ご参加いただいた皆様、ご協力いただいた皆様に、改めて感謝申し上げます。なお、フォーラム予稿集および発表資料は、下記のアドレスにて公開しております。

UeLA・JADE 合同フォーラム予稿集
https://uela.jp/proceedings/

2）2021 年度総会

フォーラム同日（2022 年 3 月 8 日）、2021 年度総会が開催されました。審議事項、報告事項は以下の通りで、全て承認されました。

■ 審議事項

1. 規約変更について
2. 決算について
3. 予算について
4. 監査校の再任について

■ 報告事項

1. 2021 年度加盟・退会校の状況
2. UeLA&JADE 合同フォーラム 2021 について
3. 幹事会での代表幹事校の互選について
   代表幹事校　【新】創価大学
   　　【旧】愛媛大学
4. 各部会の部会長及び副部会長の選出について
5. 部会実施報告
6. 共通基盤教材利用状況

4. 協議会活動報告

■ 2021 年度

開催日		開催方式
2021 年　5 月 24 日	幹事校ミーティング	Zoom
6 月 10～20 日	UeLA の取り組みに関するアンケート	
8 月　5 日	幹事校ミーティング	Zoom
9 月　7 日	システム運用部会・ミニワークショップ	Zoom
9 月 23 日	大学 e ラーニング協議会　コンテンツ・教材共有部会	Zoom
11 月　1 日	幹事校ミーティング	Zoom
12 月 27 日	部会ミーティング	Zoom

2022 年	1 月 24 日	数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム 2021 年度 関東・首都圏ブロック 第 7 回ワークショップ	Zoom
	3 月 7 日	幹事校ミーティング	※ハイブリッド
	3 月 8 日	UeLA＆JADE 合同フォーラム 2021	〃
	3 月 8 日	2021 年度総会	〃

※ハイブリッド（岡山理科大学・Zoom）

■ 2022 年度

開催日			開催方式
2022 年	5 月 10 日	幹事校ミーティング	Zoom
	7 月 6 日	部会ミーティング	Zoom
	8 月 24 日	幹事校ミーティング	Zoom
	9 月 16 日	事務局ミーティング	Zoom
	10 月 18 日	事務局ミーティング	Zoom
	11 月 7 日	幹事校ミーティング・事務局ミーティング	Zoom

5. 部会活動方針

1）第一部会 部会長 大西 淑雅（九州工業大学）

2022 年 8 月より部会長になりました九州工業大学の大西淑雅です。システム運用では様々な課題やノウハウの情報交換が、加盟校や協賛会員にとって有益となることが多いと感じています。技術的な側面にとどまることなく幅広いテーマで、部会を盛り上げたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

最近の教育環境は 1 つのシステムで完結することは少なく、複数のシステム活用や連携が不可欠になっています。本部会では、「システム連携」をテーマに、インターネットサービスの活用に関する情報交換やノウハウの共有、などをトピックとして取り上げ、部会活動を進めて行きます。具体的には、各種クラウド上の LMS や関連サービスの紹介や活用事例、システム連携に関するトレンドな技術（LTI や API）などを取り上げていきたいと思います。

2）第二部会 部会長 山川 広人（公立千歳科学技術大学）

コンテンツ・教材共有部会の部会長を拝命いたしました公立千歳科学技術大学の山川広人です。これまで、協議会では共通教育基盤として教材およびシステムをご利用いただいておりましたが、これを皆様のお力もお借りしながらよりを発展していければと存じております。

特に、数理・データサイエンス・AI 教育やそのベースとなる高校段階での情報・プログラミング教育も、大学初年次や高等学校段階からの接続の面で重要になってきていると感じています。こうした部分の教材を、LMS 等のシステム側の発展の踏まえながら拡充していくほか、その利用実践を積極的に共有いただける様なコミュニティの構築を手掛けていきたいと存じます。

3）第三部会　部会長　望月 雅光（創価大学）

現在、第 3 部会の部会長を担当しています創価大学の望月雅光です。第３部会の活動内容は、第１、第２部会と連携して、実際に協議会加盟大学が提供し合うシステムや教材等を活用して、教育実践を図り、そのノウハウや知見を協議会内で共有することです。2021 年度の総会・フォーラムより、開催校や幹事校を中心に事例報告を行っていただき、それをまとめたものをホームページに順次掲載し、実践事例の蓄積を目指しました。まだ、3 つの実践事例しか掲載されていませんが、今後の総会・フォーラムごとに事例が追加されていくことになります。

6. 2022 年度フォーラム･総会について

1）UeLA & JADE 合同フォーラム 2022 趣旨

コロナの流行は、人々の生活や経済、価値観や行動など社会全体に広範な影響を与え、高等教育にも大きな変化をもたらした。従来、多くの高等教育機関において一部の教員だけの取組であったオンライン授業の活用が、コロナ禍への対応のために、試行錯誤も伴ったが急速に導入が進んだ。実際に 2020 年５月時点で約９割の大学等がオンライン授業を実施していた。その後、コロナの状況に応じて、徐々に対面授業（面接授業）が再開されたものの、コロナ禍前とは様相が異なっている。

一方、米国のミネルバ大学のように、世界中に寮生活の拠点を持ちつつオンライン教育を中心に教育を行う大学は、地理的な制約が少ないことから、優秀な学生を世界中から集められる可能性を秘めており、注目が集まっている。

中教審の「新たな時代を見据えた質保証システムの改善・充実について（審議まとめ）」では、「学修者本位の視点に立ち、面接か遠隔かの二分法から脱却し、双方の良さを最大限に生かした教育の可能性を追求することが重要である」としている。改めて、学修者本位の教育の転換を求めた中教審の「2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン　（答申）」を振り返ってみてみると、予測不可能な時代の到来を見据え、普遍的な知識・理解と汎用的技能を文理横断的に身に付けていくことが、社会における課題の発見とそれを解決するための基盤となるとしている。

そこで、本フォーラムでは、何のために高等教育機関で DX を推進するのか、オンラインでの教育をどのように活用し、デジタル技術を取り入れていくのか改めて問い直したい。

2）UeLA & JADE 合同フォーラム 2022 概要

■日時　2023 年３月４日（土）、5 日（日）

会場　創価大学（Zoom とのハイブリッド）

内容　基調講演　高橋 浩太朗氏
（文部科学省高等教育局高等教育企画課高等教育政策室 課長補佐）他
特別講演 1　山本兼由氏（法政大学教育開発・学習支援センター長・生命科学部教授）
特別講演 2　中瀬幸子氏（Avinton ジャパン代表取締役）
事例報告
総会

7. 共通基盤のご案内

1）共通基盤システム活用のご案内

協議会では、文部科学省の補助事業で行っておりました大学間共同教育連携事業の成果を引き継ぎ、本協議会会員向けサービスとして、基盤教育向けの e ラーニング教材の共同利用を開始しました。数学（中学・高校・大学初級）、日本語、SPI 対策をまずは利用できます。また、年内には英検対策（5 級から準 2 級）までの内容を整備します。

会員大学は、試験利用期間（1 年間程度）は無料で、本格利用に際しては年間 7 万円で、どの科目でも利用可能としています。詳しくは、UeLA 共通基盤問い合わせ窓口 kiban@uela.jp までご連絡ください。

2）大学間連携　FD 研修　要請のご案内

協議会では、ICT を活用した FD 研修やシステムに関する利用説明に対する、大学間の調整を行っています。

上記の共通基盤を活用した事例の紹介、入学前教育の実践事例、反転学習の取組み、また、Moodle の運用方法等、連携大学が提供可能な情報について、講師派遣の形で、各大学の FD 研修などに派遣をいたします。

協議会 HP の「視察・講師派遣」ページをご覧いただき、ご興味のある大学は、UeLA 共通基盤問い合わせ窓口　kiban@uela.jp までご連絡ください。

「視察・講師派遣」ページ：https://uela.jp/visit/

8. 入会のご案内

当協議会は、日本における e ラーニングを先導的に推進している大学が集まり、教育・運用方法に関する知識交流を図りながら、緩やかな大学連携の在り方を検討していくことを目的とし、2009 年 2 月 6 日に設立をいたしました。

お陰様をもちまして、加盟組織も 62 機関（2022 年 10 月末現在）となり、今後も当協議会の目的である、e ラーニングに関するノウハウ（知識）や、教育方法と密接に連携した FD の取組などを積極的に公開し、e ラーニングを活用した効果的な授業展開や新たな教育方法の確立を目指すべく、協議会運営を行って参りたいと考えております。

つきましては、部会の活動紹介ならびに本協議会規約をご覧頂き、加盟についてご検討頂けましたら幸いでございます。

なお、加盟を希望される場合は、加盟申込ページ https://uela.jp/membership/application/ のファイル提出フォームより、「大学 e ラーニング協議会　加盟申込書」をご提出頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

9. 事務局からのご案内

1）会費納入のお願い

2021 年度および 2022 年度の会費未納の機関は、納入をよろしくお願いいたします。

■ 振込口座

銀 行 名：　北洋銀行
支 店 名：　千歳中央支店
口座番号：　普通 4126901
口座名義：　ﾀﾞｲｶﾞｸｲｰﾗｰﾆﾝｸﾞｷｮｳｷﾞｶｲ
　　大学ｅラーニング協議会

2）加盟大学イベント案内

加盟大学主催のフォーラム等の案内を当協議会ホームページ上でご案内させていただいております。掲載を希望する大学は事務局までご連絡ください。

協議会加盟大学の皆様が学会表彰を受けられたニュース等もニューズレターに掲載させていただきたいので、情報がございましたら是非お寄せください。

大学ｅラーニング協議会ニューズレター NO.24

発　　行：大学ｅラーニング協議会　事務局
発　行　日：2022 年 11 月 16 日
お 問 合 せ：office@uela.jp